

第 23 回地域福祉実践研究セミナー in 静岡・掛川

開催要綱

地域住民とともに推進する「地域包括ケアシステム」と「まちづくり」
～お城と報徳と生涯学習の町ー掛川へ～



期 日 平成 29 年 8 月 31 日(木)～ 9 月 2 日(土)

会 場 掛川市生涯学習センター(全体会場)他

主 催 第 23 回地域福祉実践研究セミナー in 静岡・掛川実行委員会
特定非営利活動法人日本地域福祉研究所

地域住民とともに推進する「地域包括ケアシステム」と「まちづくり」

～お城と報徳と生涯学習の町ー掛川へ～

1 開催趣旨

少子高齢化が急速に進み、家族機能が縮小し、地域のつながりが希薄化したことによって、世代を問わず孤立や孤独からくる複雑な生活課題を抱えた世帯の問題が表出するようになりました。それらの課題に対応していくためには、福祉のみならず様々な分野の専門職の連携が必要となっています。けれど、人は専門職の支援だけでは「普通の暮らしの幸せ」を得ることはできません。地域住民の皆さんが、日常の中で寄り添い、お互いの元気を確認できるようなコミュニケーションがあること、「居場所・行き場所・一緒に生きてくれる人」が日常生活圏域にそろうことで、人としての「普通の暮らしの幸せ」は実現されます。

昨年、国は「我が事・丸ごと」地域共生社会を実現していくことを提示しました。地域の中で発生する様々な事案を、自分のこととして捉え、地域で丸ごと支えていく仕組みは、まさに掛川市が推進している「地域包括ケアシステム」と「まちづくり」の理念そのものです。第23回地域福祉実践研究セミナーin 静岡・掛川は、掛川市が取り組んでいる保健・医療・福祉・介護はもとより様々な専門機関と、地域住民とが共に取り組む地域福祉実践事例を取り上げ、その成果の検証を行うとともに、その先の実践を探るものです。

掛川市は、日本列島のほぼ中央、静岡県西部と中部の境に位置し、北部は山地・南部は遠州灘に面した中核的な市です。市の中心部には、国道1号線と東名高速道路、東海道線が東西に横断しています。全国初の生涯学習都市宣言をした市でもあり、住民主体の理念のもと、行政・社協・関係機関・企業・NPO等の協働による福祉活動・市民活動・まちづくり活動が活発に展開されています。ぜひ、現地で一緒に語り合しましょう。

本セミナーの特色

- ・地域福祉に関わる様々な分野の実践者と住民が共に交流し討議することを通して、今後の地域福祉の実践に新たな見通しを拓きます。
- ・地域福祉の先駆的な実践現場に集い、現場の実践を分析することによる臨場感に富んだ研修の場を提供します。
- ・各分野のワークショップでは、コミュニティソーシャルワークを中心とし、参加者全員が課題を明らかにし、その解決方法の方策をアドバイザーとともに考察し、企画力・実践力の向上を図ります。
- ・ワークショップの達成課題を明らかにし、全体フィードバックでのプレゼンテーション・総括を通して、コミュニティソーシャルワーク・スキルの向上を図ります。

- 2 主 催 第23回地域福祉実践研究セミナー in 静岡・掛川 実行委員会
特定非営利活動法人日本地域福祉研究所
- 3 共 催 掛川市
社会福祉法人掛川市社会福祉協議会
- 4 後 援 静岡県、社会福祉法人静岡県社会福祉協議会、静岡県教育委員会、
掛川市教育委員会、一般社団法人小笠医師会、社会福祉法人大須賀苑
- 5 期 日 平成29年8月31日（木）～9月2日（土）

6 会 場

1 日目 8月31日（木）	全 体 会／掛川市生涯学習センター 大ホール 情報交換会／掛川グランドホテル
2 日目 9月1日（金）	ワークショップ／掛川市内各施設（6ヶ所） ・地域健康医療支援センターふくしあ（4ヶ所） ・掛川市文化会館シオーネ ・大日本報徳社 交 流 会／掛川駅周辺（ワークショップ別会場）
3 日目 9月2日（土）	ワークショップ報告シンポジウム・総括講演会／大日本報徳社

7 参加対象者・募集定員

社会福祉協議会役職員、社会福祉施設職員、地域福祉活動実践者、社会貢献活動実践企業、
民生委員・児童委員、行政職員、学校関係者、学生・大学院生、その他社会福祉に関心のある方
400人（1日目／400人 2日目以降／200人）

8 日 程

1 日目	12:00 受付 13:00 開会 13:20 基調講演 14:30 基調報告 15:20 シンポジウム 17:00 閉会 18:30 情報交換会 20:30 終了
2 日目	9:30 ワークショップ 18:30 交流会 20:30 終了
3 日目	9:00 開会 9:15 ワークショップ報告シンポジウム 10:50 総括講演 11:55 閉会式 12:15 閉会

9 内 容

<1 日目【8月31日(木)】> 受付/12時~13時

○開会式 (13時~13時15分)

あいさつ/掛川市長

社会福祉法人掛川市社会福祉協議会会長

特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事長

一般社団法人小笠医師会長

○基調講演 (13時20分~14時20分)

講 師/特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事長 大橋謙策 氏

テーマ/地域福祉の主体形成とコミュニティソーシャルワーク

— 地方改良運動・報徳思想と「我が事・丸ごと地域共生社会」 —

○基調報告 (14時30分~15時10分)

報告者/掛川市副市長 浅井正人 氏

テーマ/掛川市の取り組む「地域包括ケアの推進とまちづくり」

○シンポジウム (15時20分~17時)

テーマ/地域福祉の推進とまちづくり

コーディネーター/特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事長 大橋謙策 氏

シンポジスト/地区まちづくり協議会連絡会会長 中村隆哉 氏

西山口地区福祉協議会企画委員長 菅沼孝行 氏

掛川市地域医療推進課長 大竹紗代子 氏

<2日目【9月1日（金）】>

○ワークショップ（9時30分～17時 ※ワークショップ③⑤は、16時30分終了）

【ワークショップ内容】 定員／各会場共通 50人

1	テ ー マ	住人十色のまちづくり 新しい協働と、一人ひとりが輝くまちづくり 多様な人がつながることで、多様な課題解決ができる地域づくり
	会 場	東部地域健康医療支援センター「ふくしあ」
	アドバイザー	宮城 孝氏（法政大学）・小野敏明氏（日本地域福祉研究所）
	実践報告者	西山口地区福祉協議会 企画委員長 菅沼孝行氏 蓮福寺 住職 馨敏郎氏 NPO 法人時ノ寿の森クラブ 理事長 松浦成夫氏
	内 容 (ねらい)	国の政策動向では、様々な場面で、住民による地域課題の解決が求められてきている。しかし、地域社会の状況は、人口減少・少子高齢化・地域活動人材の高齢化など、住民の方々による活動が難しい状況にある。新たな協働・連携と、新たな地域活動人材の発掘を図っていく必要がある。本ワークショップでは、掛川市の多様な地域活動に学び、参加者とともに、これからのことについて考えていきたい。

2	テ ー マ	共生社会実現への全世代対象型地域包括ケアの取り組み
	会 場	中部地域健康医療支援センター「ふくしあ」
	アドバイザー	神山裕美氏（大正大学）・國光登志子氏（日本地域福祉研究所）
	実践報告者	掛川市社会福祉協議会 CSW（コミュニティソーシャルワーカー） 後藤柚季氏 掛川市こども希望部こども希望課こども家庭係 主査 平野都美氏 仁平司法書士事務所 司法書士 仁平 博氏
	内 容 (ねらい)	地域包括ケアシステムは、ソーシャルインクルージョン実現の地域づくりや、住民主体の地域福祉活動及び生活支援サービスの充実等により、医療・介護・予防等の専門的サービスも効果的に展開することができる。近年は、地域共生社会の実現に向けて、住民主体の課題解決と包括的な相談体制をつなげる取り組みも求められる。それらの実践とシステム形成に先駆的に取り組んだ「ふくしあ」の実践より、地域で暮らす対象者への専門職連携や、地域や住民活動を支援するコミュニティソーシャルワーク等のつながりについて、参加者と共に考えていきたい。

3	テ ー マ	法人や企業による社会貢献活動 法人や企業が展開する社会貢献活動と地域ニーズをつなぐ
	会 場	大須賀市民交流センター（大須賀地域健康医療支援センター「ふくしあ」）
	アドバイザー	中島 修 氏（文京学院大学）・田中英樹 氏（早稲田大学）
	実践報告者	社会福祉法人大須賀苑 施設長 青野容幸 氏 掛川商工会議所青年部 副会長 山本美鈴 氏 株式会社杏林堂薬局 健康・医療推進室コーディネーション事業 管理栄養士 青野真理絵 氏
	内 容 （ねらい）	少子高齢化、人口減少社会を背景に、福祉ニーズの広がりや地域コミュニティづくりは地域福祉を結節点に、様々なサービスとケアの担い手の参画が求められている。社会福祉法人制度改革により、社会福祉法人に地域公益的な取組みが責務化された。厚生労働省の新福祉提供ビジョンや「我が事・丸ごと地域共生社会実現本部」、経済産業省の中心市街地活性化や地域コミュニティづくりとの連携など、福祉と生活課題が結びついて実践されている。様々な実践事例を通して、多機関多領域協働による地域福祉実践を検討していきたい。

4	テ ー マ	ひきこもり者支援と居場所づくりを考える
	会 場	西部地域健康医療支援センター「ふくしあ」
	アドバイザー	岡村英雄 氏（八王子市役所）・金井 敏 氏（高崎健康福祉大学）
	実践報告者	掛川市社会福祉協議会 精神保健福祉担当 川又千明 氏 静岡県ひきこもり地域支援センター センター長・NPO法人サンフォレスト 代表 三森重則 氏 地域若者サポートステーションかけがわ 総括コーディネーター 池田佳寿子 氏
	内 容 （ねらい）	地域で暮らすひきこもりの人々の支援が社会的な課題となっている。掛川市では、総合相談機関としての「ふくしあ」等でのひきこもり相談を入口として、地域若者サポートステーションが地域住民の伴走型支援と専門職が連携する「静岡方式」の実践に取り組んでいる。地域でひきこもる若者が地域との関係を築きながら社会に参加するために必要な支援について深めていきたい。

5	テ ー マ	地域ぐるみで一緒に学び、育ち合う「福祉共育（きょういく）」
	会 場	掛川市文化会館シオーネ
	アドバイザー	青山登志夫 氏（静岡福祉大学）・中野いく子 氏（日本地域福祉研究所）
	実践報告者	西山口地区福祉協議会子ども福祉委員会 富川美春 氏 掛川市立横須賀小学校 校長 平川由加里 氏 静岡県車椅子友の会掛川支部 横山博則 氏 掛川市社会福祉協議会 福祉教育担当 渡部 楓 氏
	内 容 （ねらい）	住み慣れた地域社会における「我が事・丸ごと」の共生社会づくりには、青少年をはじめとする全世代の地域住民などの主体形成を図る福祉教育実践がはじめての一步といえる。町会・自治会、地区社会福祉協議会、福祉事業者、小中学校、市民活動団体などが連携し、共に学び合い育ち合う福祉教育の実践事例をふまえて「共生・共育」の地域づくりを考えていきたい。

6	テ　　マ	地域の助け合いと生活支援コーディネーターの役割 ～居場所・生活支援・福祉ボランティア～ 住民主体で進める生活支援事業の実践から学ぶ
	会　　場	大日本報徳社
	アドバイザー	菱沼幹男 氏（日本社会事業大学）・秋山由美子 氏（日本地域福祉研究所）
	コメンテーター	西尾敦史 氏（静岡福祉大学）
	実践報告者	磐田市社会福祉協議会 課長補佐 守谷充子 氏 磐田市豊岡地区社会福祉協議会 会長 江間彦之 氏 たすけあい遠州 代表理事 稲葉ゆり子 氏（さわやか福祉財団インストラクター）
	内　　容 (ねらい)	介護保険制度の改正に伴い、地域の多様な担い手による生活支援を推進するため、全ての市区町村に生活支援コーディネーターが配置されている。生活問題の解決を住民に丸投げすることなく、公私協働の地域づくりを進めていくために、生活支援コーディネーターは何をすべきか、具体的な展開方法を参加者と共に考えていきたい。

<3日目【9月2日（土）】> 受付／8時30分～9時15分

○ワークショップ報告シンポジウム（9時15分～10時45分）

コーディネーター／特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事 青山登志夫 氏
シンポジスト（6人）／各ワークショップアドバイザー

○総括講演（10時50分～11時50分）

講 師／特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事長 大橋謙策 氏

○閉会式（11時55分～12時15分）

次期開催地あいさつ

閉会あいさつ

10 参加費

一般参加（県外）	7,000 円
一般参加（県内）	5,000 円
学 生	3,000 円
1日参加	3,000 円

※1 日目情報交換会参加費 6,000 円

※2 日目交流会参加費 4,500 円

※2 日目昼食代 1,000 円

11 参加申込

【申込み方法】 以下の申し込み先に、参加申込書を FAX にて送付ください。

【申込み先】 名鉄観光サービス株式会社 浜松支店
〒430-0917 静岡県浜松市中区常盤町 145-1
電話/053-452-8453 FAX/053-455-1559

【申込み締切】 8月4日（金）

参加申込書等の各様式については、日本地域福祉研究所ホームページ及び第 23 回地域福祉実践研究セミナー in 静岡・掛川実行委員会事務局（社会福祉法人掛川市社会福祉協議会ホームページ）からダウンロードできます。

12 事務局

第 23 回地域福祉実践研究セミナー in 静岡・掛川実行委員会 事務局
(社会福祉法人掛川市社会福祉協議会 地域福祉係)

〒436-0079 静岡県掛川市掛川 910-1
電話/0537-22-1294 FAX/0537-23-3319

Mail : info@kakegawa-syakyo.or.jp URL : <http://www.kakegawa-syakyo.or.jp>

特定非営利活動法人日本地域福祉研究所

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 3-27 ロリエ市ヶ谷 3 階
電話/03-5225-0237 FAX/03-5225-0238

Mail : jicsw@mx8.alpha-web.ne.jp URL : <http://www.jicw.jp>